



自分を知ることで成長は加速する

長かった夏休みが終わり、学校に活気が戻ってきました。始業式では、2学期のスタートにあたり、代表生徒が全体の前で決意を述べました。「合唱コンクールを協力して頑張りたい」「行事を楽しみ成長していきたい。みんなで盛り上げよう」など、自分自身を見つめ、一人一人の目標につながる力強い発表を行いました。堂々と話す姿に、聞いていた生徒たちも自然と背筋を伸ばし、これから始まる2学期への思いを新たにしている様子が伝わってきました。

初めての期末テスト、準備をして臨みたい。学習では、小さな疑問を残さないようノートを活用する。努力と協力の力を身につけ大きく成長できるよう毎日を大切に過ごす。

夏休みは宿題を早めに終え、復習に力を入れた。駅伝の練習にも参加し、その成果を部活動でも感じられ、自信になった。これからも諦めずに目標に向かい頑張る。

部活動の西日本・南日本大会に出場する。3位以内を目標に、苦手なところを意識し取り組む。勉強にも力を入れ、将来の夢につながる高校を選択し頑張っていく。

期待と不安のあった1学期だったが、大きな成長があった。協力し合う楽しさや人の関わりの大切さを感じた。2学期は、絆日本一の山鹿中学校を創っていくこう。

これまでの学校生活において、自らの挑戦、保護者、先生からの支援や指導、あるいは友だち(人)との関わりによって目標を突破できた生徒も多くいます。目標に近づき、達成に向け力を発揮するために大切なことは、「今の自分への気づき」を出発点とし、「自分の姿に気づく」ことです。そして、「私は〇〇な人」と適切に自己評価ができれば、ひとつひとつの課題をクリアし確実に前に進んでいくことができます。

適切な自己評価を行うためには、多くの人と関わらなければなりません。お互いが安心できる関係を築いていくためにも2学期は、『美しい姿と言葉』で周りの人に関わってほしいと話をしました。

授業や掃除に頑張っている姿、人を応援したり励まし合ったりしている姿、ありがとう、ごめんなさいの素直な言葉、あいさつや歩いている姿など、私たちは力を合わせて、周りを勇気づける姿勢や姿、言われて嬉しい言葉が当たり前の山鹿中学校になるよう取り組んでいきましょう。